

現在にも誇るべき助産師界のリーダー —明治の産婆黎明期に活躍した村松志保子—

日本の産婆の黎明期に活躍した「村松志保子」の生き方を通して、これからの助産師活動や助産師教育のあり様を展望する。

「村松志保子の存在は、わが国の助産師の近代歴史観を画期的に塗り替える出来事で、助産師の本格的な職業化をした明治時代のみならず、現代の助産師にとっても先駆的、自律的助産師として、助産師を勇気づけ、将来にわたって助産師の先達としての存在意義が大きい。」（岡本喜代子先生の記述より）

講師：日本助産師会会長 岡本喜代子先生

日時：平成 27 年 1 月 10 日（土）10 時～12 時

会場：日本助産師会館 2 階研修室



村松志保子の産婆学校跡/助産師教育発祥の地碑
東京都墨田区横網2丁目

JR総武線の両国駅から 北に 800m。

碑文

村松志保子の自立的・博愛的近代助産師活動と助産師教育発祥の地

明治時代に女医から産婆（助産師）になり、明治・大正時代に博愛精神に基づき、助産活動をした先駆的助産師村松志保子は、安政三年（1856）生～大正十一年（1922）没明治十四年、この地に安生堂医院を開設、更に女性の地位向上のため、明治十五年、淑女館と安生堂産婆学校を設立し新しい教養豊かな産婆（助産師）がこの地で育成された。

志保子の博愛精神は、貧富の分け隔てなく当時の多くの母子を助け、その活動は、大正十二年九月一日の関東大震災まで、続けられた。

ここに、「志保子の崇高な精神」「高邁な志」に基づく活動を末永く称えと共に、助産師自らが設立した助産師教育と博愛的助産師活動発祥の地に、将来にわたり全世界の全ての母子とその家族の健康と幸福を願い、更に世界平和の実現への助産師の祈りの発信基地となることを記念して。

村松志保子助産師顕彰会建立

会費：会員校(個人会員含)1,000 円 非会員校 3,000 円

主催者：公益社団法人 全国助産師教育協議会

Tel・Fax 03-3866-3017 (火・木 事務局在室)

E-mail zenjomid.1965@car.ocn.ne.jp

平成 26 年度ファーストステージ研修特別講義
助産師教育、臨床指導の教育に携わる教員のための
公開講座 参加申し込み

参加ご希望の方は、メールまたは Fax でお申し込み下さい。

＊＊申し込み締め切り：平成 27 年 1 月 6 日（火）＊＊

メール：zenjomid.1965@car.ocn.ne.jp・ファックス 03-3866-3017

会場案内

お名前	
ご所属	
連絡先 (緊急時のみ使用します)	

日本助産師会館 2階研修室

住所：東京都台東区鳥越 2-1-2 TEL・fax：03-3866-3017

最寄り駅：JR総武線「浅草橋」駅西口から徒歩8分・都営地下鉄浅草線A4出口

都営地下鉄浅草線「蔵前」駅A3出口から徒歩5分

